

技術仕様書

Flowfit CCA151

塩素センサ CCS5xD 用流通ホルダ



飲用水およびプロセス水の殺菌状態測定用のシンプルなホルダ

アプリケーション

- 飲用水
- ユーティリティでのあらゆる用途
- 低流量サンプルのアプリケーション

特長

- pH 補償を必要としない二酸化塩素などによるすべての殺菌プロセスに最適
- 少量のサンプル流量でも測定が可能：5 l/h (1.32 gal/h) 以上
- 流通ホルダに新たな対応範囲を追加：CCA250 と同型で交換が可能

機能とシステム構成

動作モード

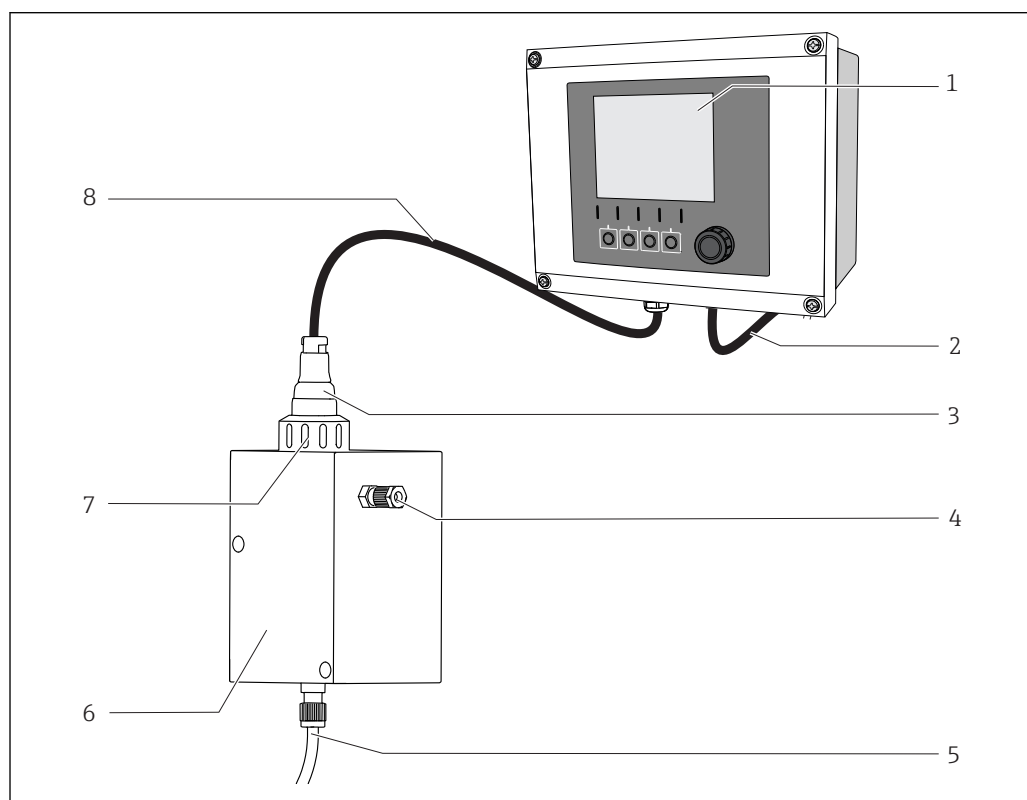
流通ホルダ OCCA151 を使用して適切なセンサを取り付けることで、二酸化塩素の信頼度の高い測定を実現します。プロセスを中断せずにセンサの取り外し、清掃、殺菌、校正/調整ができます。

ホルダは容器とパイプのいずれにも設置できます。

計測システム

計測システム一式は以下で構成されます。

- 塩素センサ OCCS50D（隔膜式、 $\varnothing 25$ mm）および対応する設置アダプタ
- OCCA151 流通ホルダ
- 測定用ケーブル OYK10
- 変換器（例：OCM44x）



A0034241

図 1 計測システムの例


- 1 変換器 OCM44x
- 2 変換器用電源ケーブル
- 3 塩素センサ OCCS5xD（隔膜式、 $\varnothing 25$ mm）例：OCCS50D
- 4 OCCA151 流通ホルダからの流出口
- 5 OCCA151 流通ホルダへの流入口
- 6 OCCA151 流通ホルダ
- 7 センサ OCCS50D（OCCA151 流通ホルダ）設置用のカップリングナット
- 8 測定用ケーブル OYK10

設置

取付方向

本ホルダは、パネル、壁面、平面への設置用に設計されています。プロセス接続用に、G 1/8" 接続と外径 6 mm、内径 4 mm のホース接続が提供されています。

本ホルダは垂直に設置するよう設計されています。


 センサの設置方向は決められています。

設置方法

警告

プロセス測定物が漏出した場合、高圧、高温または化学薬品の危険性により負傷する恐れがあります。

- ▶ 保護手袋、保護メガネおよび防護服を着用してください。
- ▶ タンクまたは配管が空で加圧されていない状態でのみホルダを取り付けてください。


 設置前に、フランジ間のフランジシールを点検してください。

1. ホルダは垂直な面に設置してください。
2. 容器またはパイプをプロセス接続経由で接続してください。

バイパス操作

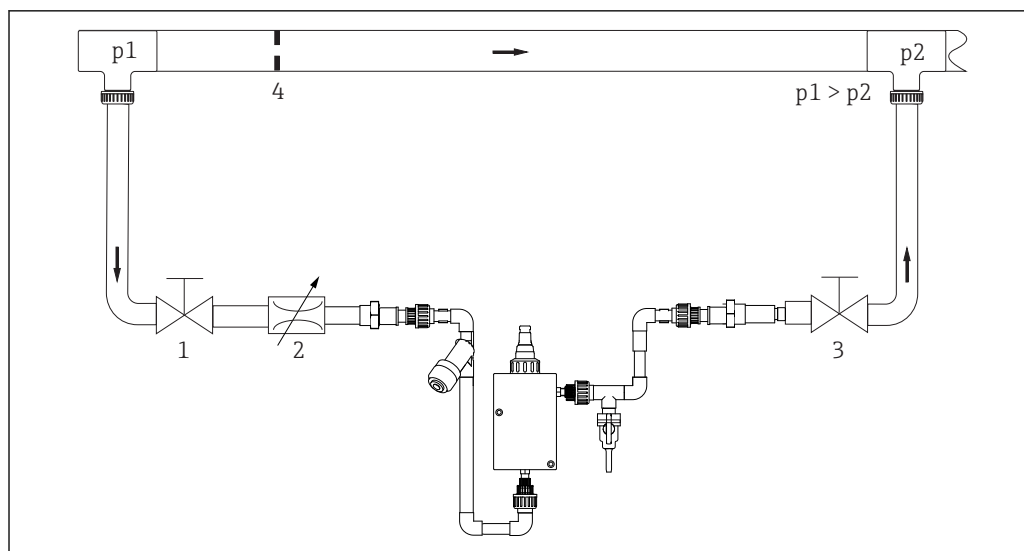
本ホルダでバイパスにより流量測定を行うには、p1 の圧力が p2 の圧力より高い必要があります。

この場合、メイン配管にオリフィスプレートまたはスロットルバルブの設置が必要です。

 p1 は、本ホルダの許容稼働圧力の 0.4 MPa (58 psi) を超えてはなりません。

センサを設置する場合は、センサの圧力仕様も考慮する必要があります。

1. ホルダは垂直に設置します。
2. 接続は市販されている接続フィッティングを使用して行います。要件に応じ、PMMA 対応ネジ緩み止め剤、テフロンテープ、FKM 製 O リングなどの一般的なシーリング素材を使用します。
3. 本ホルダはプロセスラインへの直接設置より、バイパスラインへの設置を推奨します。バイパスラインはプロセスを中断せずに停止することが可能です（上流側と下流側にシャットオフバルブが必要です）。このため、プロセスを制限せずにセンサの清掃などが可能になります。
4. ホルダの上流側に、メッシュサイズが 500 μm のダートトラップ（フィルタ）を設置します。減圧バルブを使用する場合は、通常ダートトラップが装備されています。
5. 流量計設置時の設定などに従い、ホルダ上流側の流量値を設定します。
6. DPD 法に従い、呼び口径 5~8 mm のタップをホルダの下流側放流口に設置して測定物を取り入れられるようにします。



A0034259

図 2 バイパスラインとメイン配管内にオリフィスプレートがある場合の接続例

- 1 シャットオフバルブ (ユーザーが用意)
- 2 減圧バルブ ($p_1 > 0.4 \text{ MPa}$ (58 psi)) (ユーザーが用意)
- 3 シャットオフバルブ (ユーザーが用意)
- 4 プロセスラインのオリフィスプレート (ユーザーが用意)

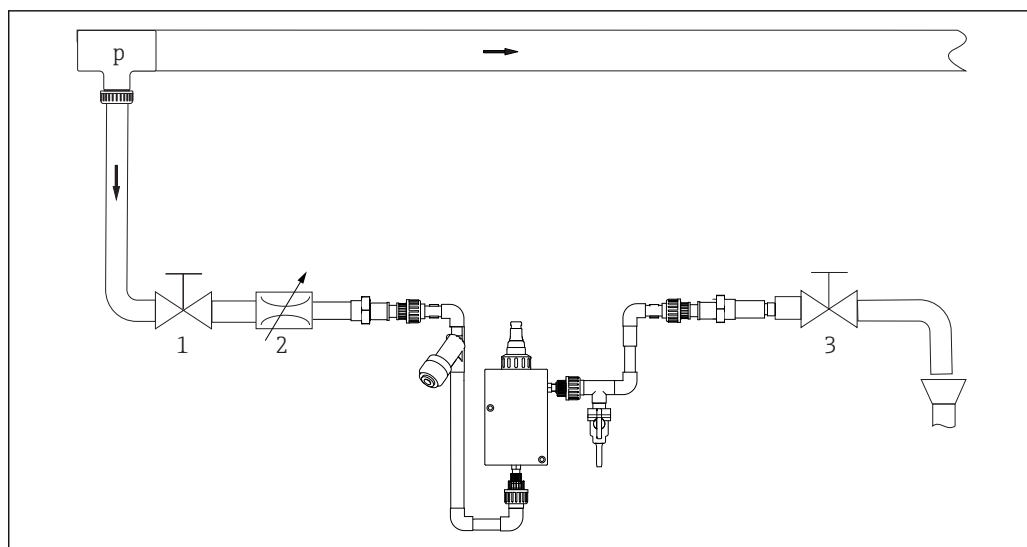
流出側が開放状態の操作

i p は、本ホルダの許容稼働圧力の 0.4 MPa (58 psi) を超えてはなりません。

センサを設置する場合は、センサの圧力仕様も考慮する必要があります。

測定物の圧力が 0.4 MPa (58 psi) より高い場合は、減圧バルブが必要となります。

1. ホルダは垂直に設置します。
2. 接続は市販されている接続フィッティングを使用して行います。要件に応じ、PMMA 対応ネジ緩み止め剤、テフロンテープ、FKM 製 O リングなどの一般的なシーリング素材を使用します。
3. 本ホルダはプロセスラインへの直接設置より、バイパスラインへの設置を推奨します。バイパスラインはプロセスを中断せずに停止することが可能です (上流側と下流側にシャットオフバルブが必要です)。このため、プロセスを制限せずにセンサの清掃などが可能になります。
4. ホルダの上流側に、メッシュサイズが $500 \mu\text{m}$ のダートトラップ (フィルタ) を設置します。減圧バルブを使用する場合は、通常ダートトラップが装備されています。
5. 流量計設置時の設定などに従い、ホルダ上流側の流量値を設定します。
6. DPD 法に従い、呼び口径 $5\sim 8 \text{ mm}$ のタップをホルダの下流側放流口に設置して測定物を取り入れられるようにします。



A0034260

図 3 流出側が開放状態の接続

- 1 シャットオフバルブ (ユーザーが用意)
- 2 減圧バルブ ($p > 0.4 \text{ MPa}$ (58 psi)) (ユーザーが用意)
- 3 シャットオフバルブ (ユーザーが用意)

環境

周囲温度 $-20 \sim +60 \text{ }^\circ\text{C}$ ($-4 \sim 140 \text{ }^\circ\text{F}$)

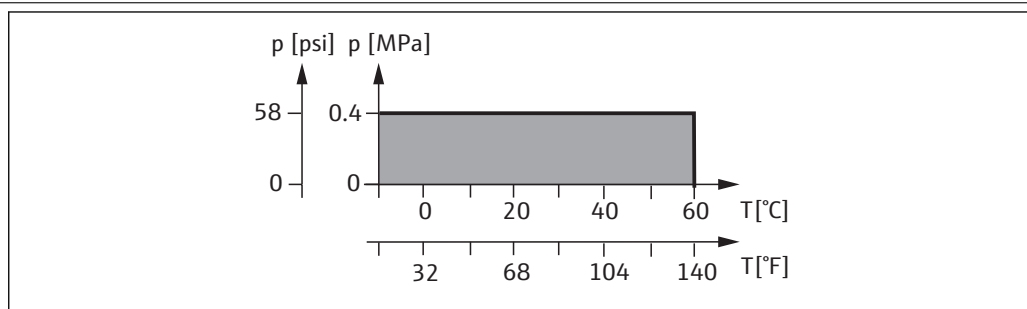
保管温度 $-20 \sim +60 \text{ }^\circ\text{C}$ ($-4 \sim 140 \text{ }^\circ\text{F}$)

プロセス

許容プロセス温度 $0 \sim 60 \text{ }^\circ\text{C}$ ($32 \sim 140 \text{ }^\circ\text{F}$)、凍結なし

プロセス圧力範囲 $0 \sim 0.4 \text{ MPa}$ ($0 \sim 58 \text{ psi}$) 相対値

圧力温度定格



A0034376-JA

図 4 圧力温度定格

プロセス接続

G1/8"

ホース仕様:

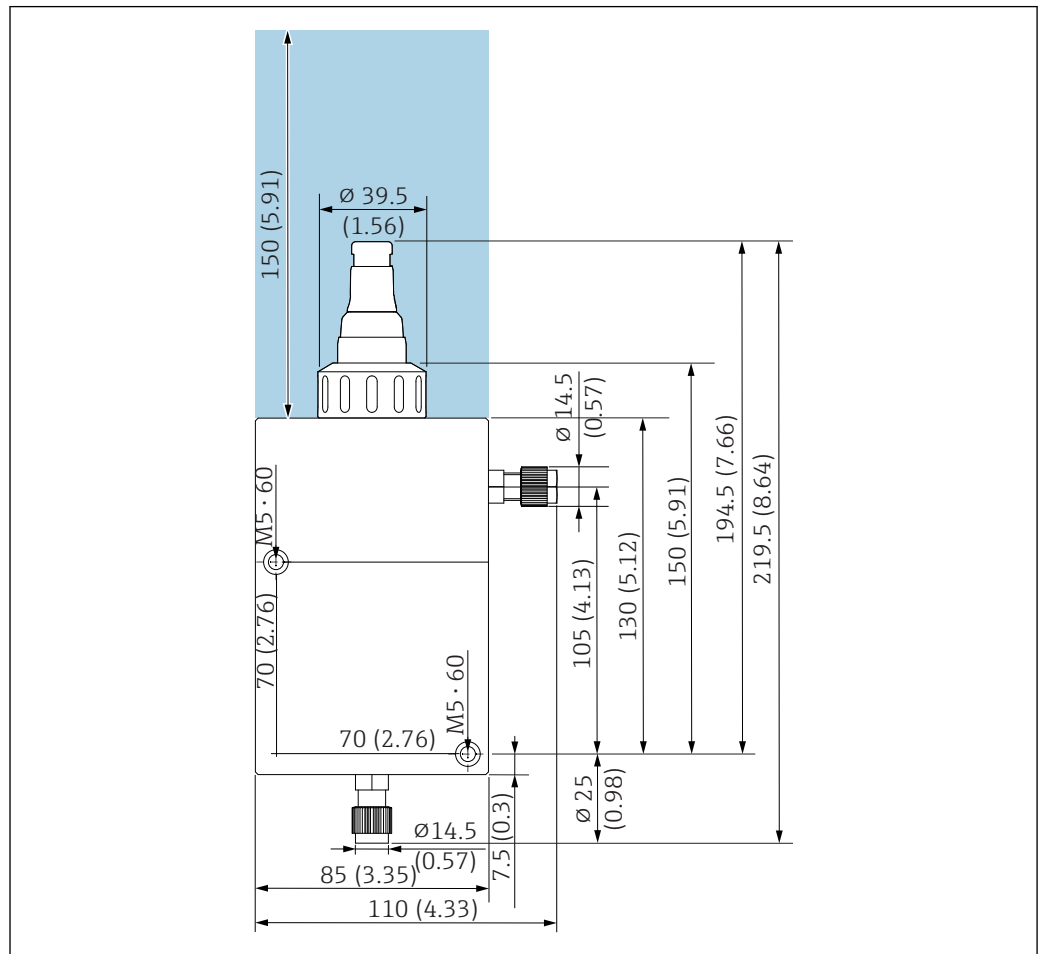
外径 6 mm、内径 4 mm

流量

25 mm (0.98 in) の塩素センサを約 77 mm (3.03 in) の浸漬深さで使用した場合、最小 5 l/h (1.32 gal/hr) の安定流量

構造

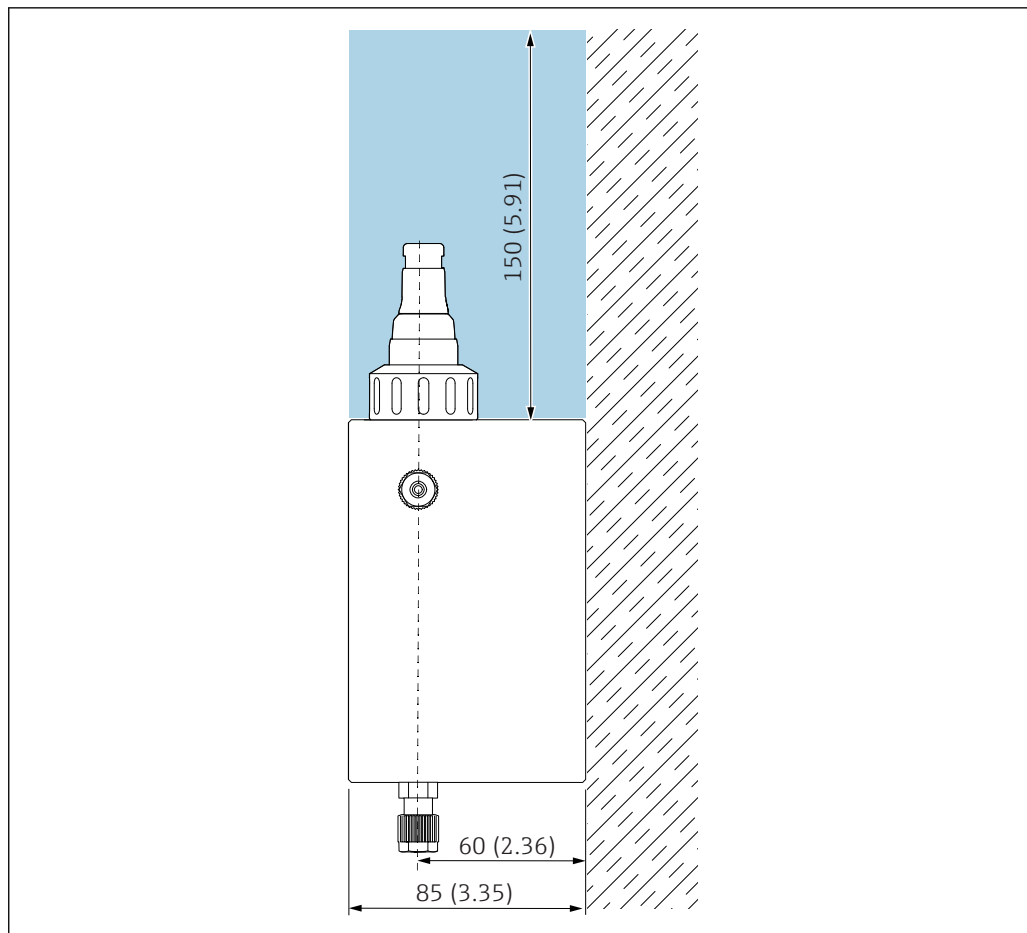
寸法



A0034258

図 5 前面図

センサを取り外しできるように設置し、Memosens データケーブルを使用するために、設置時に 150 mm (5.91 in) のスペースが必要です。



A0034398

図 6 側面図

センサを取り外しできるように設置し、Memosens データケーブルを使用するために、設置時に 150 mm (5.91 in) のスペースが必要です。

質量 1.077 kg (2.37 lbs)

材質

| 接液部 | |
|----------|---------|
| ホルダ : | PMMA |
| シール | PVDF |
| ダミープラグ : | PVC、FKM |

認証と認定

RL 2014/34/EU (ATEX)

本ホルダは、この指令の範囲には含まれません。ただし、安全に使用するための条件が順守される場合は、危険場所でこれを使用することが可能です。

RL 2014/68/EU PED

本ホルダは、欧州圧力機器指令 97/23/EC 第 3 条第 3 項に適合するように GEP (Good Engineering Practice) に従って製造されています。

注文情報

納入範囲

- 納入範囲：
- 注文したバージョンのホルダ
 - 取扱説明書

アクセサリ

- ▶ 弊社営業所もしくは販売代理店にお問い合わせください。

www.addresses.endress.com
